

庄内川水系流域治水プロジェクト (各構成員版)



みんなでももる土岐川・庄内川



多治見市・・・P3	江南市・・・P12	豊山町・・・・・・・・・・・・・・P21
瑞浪市・・・P4	小牧市・・・P13	大口町・・・・・・・・・・・・・・P22
恵那市・・・P5	稲沢市・・・P14	扶桑町・・・・・・・・・・・・・・P23
土岐市・・・P6	尾張旭市・・・P15	大治町・・・・・・・・・・・・・・P24
名古屋市・・・P7	岩倉市・・・P16	蟹江町・・・・・・・・・・・・・・P25
一宮市・・・P8	清須市・・・P17	東海農政局・・・・・・・・・・・・P26
瀬戸市・・・P9	北名古屋市・・P18	中部森林管理局・・・・・・・・・・P27
春日井市・・・P10	あま市・・・P19	岐阜・名古屋地方気象台・・・P28
犬山市・・・P11	長久手市・・・P20	多治見砂防国道事務所・・・P29

【多治見市の流域治水対策】



オール多治見による**雨水流出抑制と市民の防災意識向上を実践**、中流域の役割として**下流に位置する市町への流出負担軽減**

- 2011年台風15号豪雨被害を受け、平成24年に「多治見市平和町、池田町、前畑町、田代町等雨水排水対策協議会」を設置し、71事業を実施。対象区域の床上浸水が概ね解消。
- 【事業期間】2011年から2018年(8年間) 【総事業費】74.9億円(うち 国費:40.2億円)
- さらなる浸水対策推進のため、市内全域を対象にした、国・県・市等関係者による多治見市浸水対策協議会を平成31年に設置。今後は、流域治水対策とともに事業を実施予定。



H23洪水時の様子



対策メニュー		短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 ・河道掘削 ●流出抑制対策 ・貯留管等の整備(雨水貯留施設の新設(駅南再開発)、貯留施設機能の維持・回復(調整池堆積土砂の浚渫)) ・民間開発による貯留施設設置指導(開発行為に対する流出抑制指導) ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援(雨水貯留施設設置補助金交付) ・ため池等の活用(ため池等農業施設の活用、既設貯留施設(ため池等)の事前放流) ●内水被害軽減対策 ・雨水排水網の新設、増強(雨水排水網の新設、増強) 			
【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ・立地適正化計画への防災指針の位置付け 			
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 ・地下空間、地区タイムラインの作成、周知(タイムラインの作成、周知(運用・住民周知・見直しの実施、地区タイムラインの作成支援)) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保(高齢者等の避難確保計画の策定の推進) ・関係機関との連携強化(多治見市浸水対策協議会) ・ハザードマップの更新(ハザードマップの作成、活用) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進(防災教育の実施) ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(水防訓練の実施) 			
【グリーンインフラの取組】 <ul style="list-style-type: none"> ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池の事前放流等による水位調整) ●魅力ある水辺空間・賑わい創出 ・水辺の賑わい空間創出(かわまちづくり、りばーびあ) 			

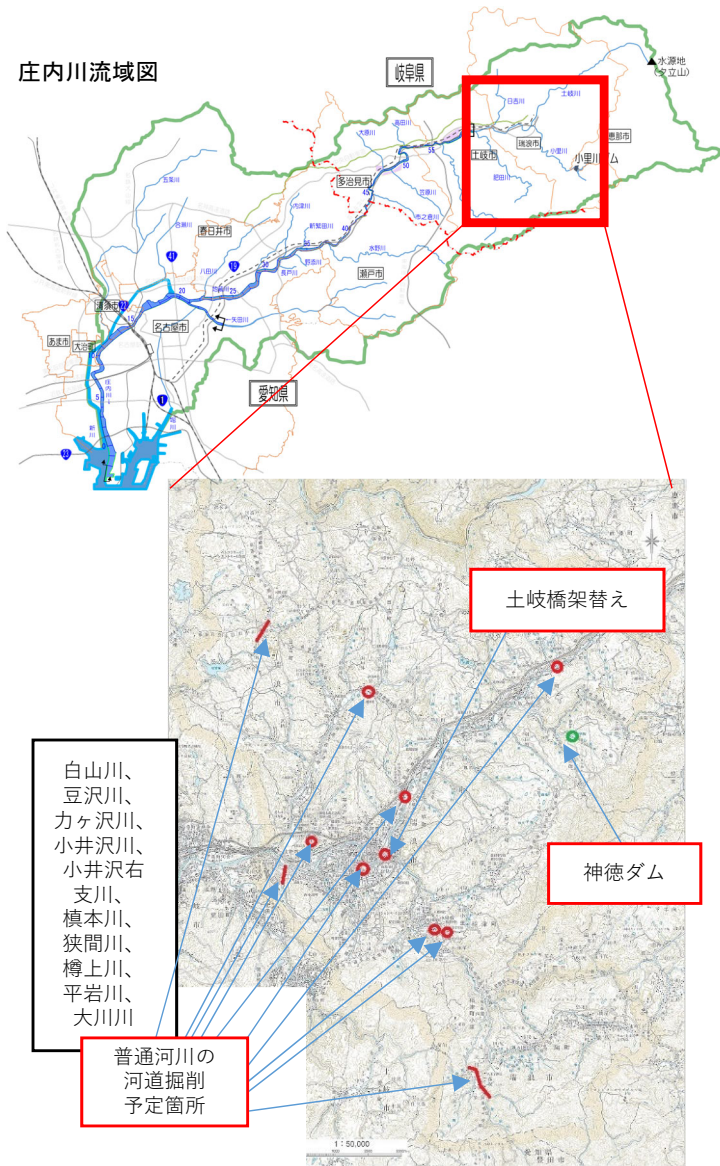
※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

【瑞浪市の流域治水対策】



瑞浪市は、上流域に位置する自治体として、**豊かな水辺環境の維持に努める**とともに、中・下流域への流出負担軽減を推進し、市民の防災意識の向上を図る

庄内川流域図



土岐橋

一級河川での河川橋梁改築



小井沢川

普通河川の河道掘削の実施



神徳ダム

既設ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築

対策メニュー

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
 - ・一級河川での河川橋梁改築
 - ・普通河川の河道掘削及び浸水対策の実施
- 流出抑制対策
 - ・既設ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築
 - ・民間開発による貯留施設設置指導（開発行為に対する流出抑制指導（貯留・浸水施設））
 - ・ため池等の活用

【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（立地適正化計画へ防災指針の位置付け）

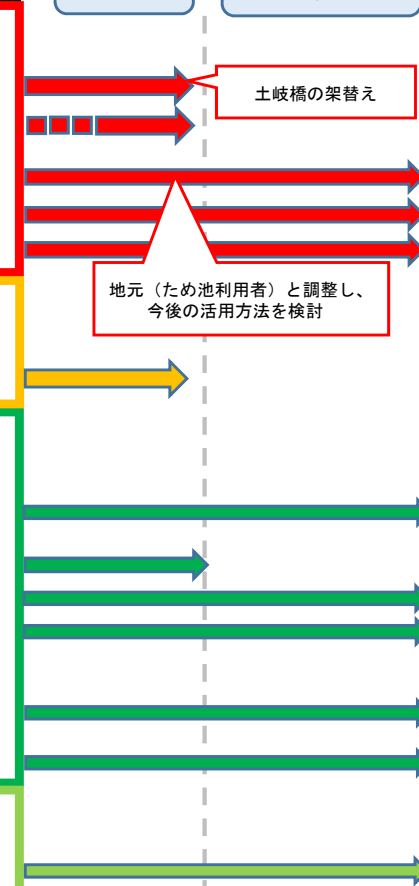
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知（自治体タイムラインの周知）
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（高齢者等の避難確保計画の策定の推進）
 - ・関係機関との連携強化（土岐川流域新五流総地域委員会）
 - ・ハザードマップの更新（ハザードマップの更新・活用）
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知（気象・防災情報の提供）
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（マイタイムライン作成の促進）

【グリーンインフラの取組】

- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
 - ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全（ため池）

短期 中・長期



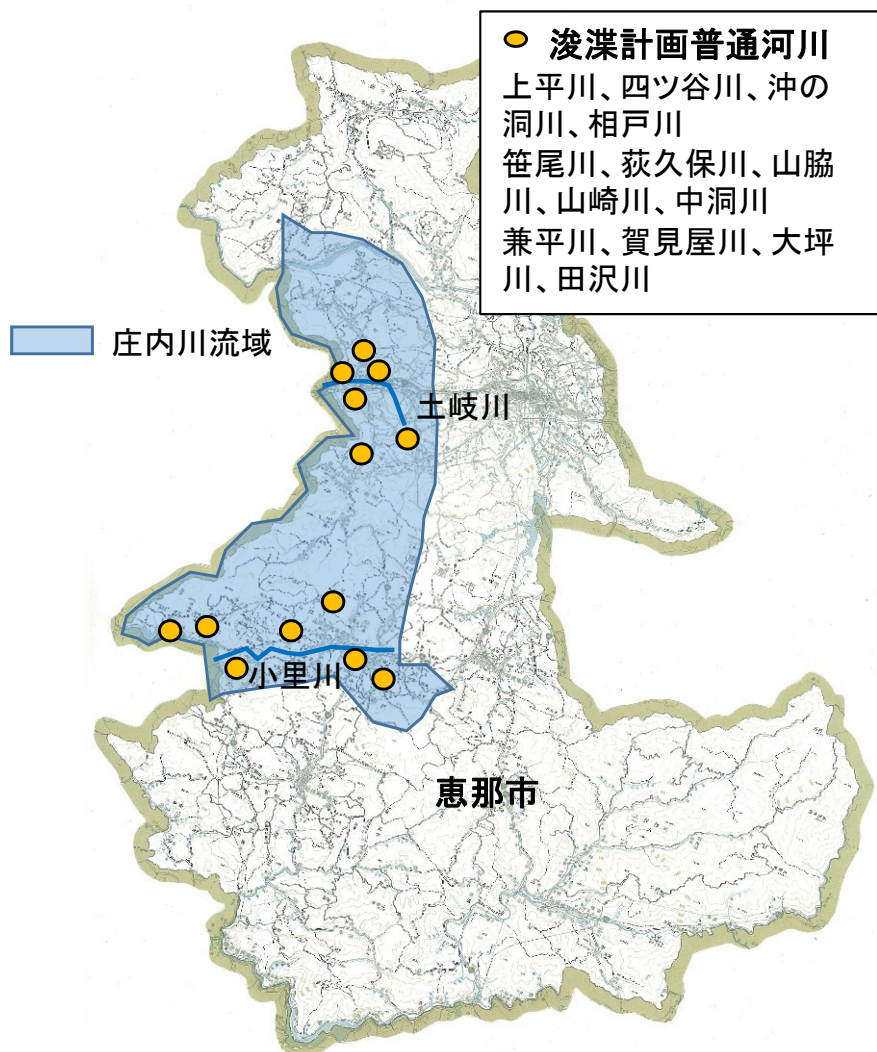
※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

【恵那市の流域治水対策】



庄内川流域の源流部に位置する恵那市

“水源地の森林を守り、育て豊かな水を下流域へ” を目標に森林保全事業を実施



森林整備面積 (ha)

令和2年度 3.50ha
令和元年度 10.38ha
平成30年度 21.55ha

(森林環境保全直接支援事業、環境保全林整備事業)



森林整備状況

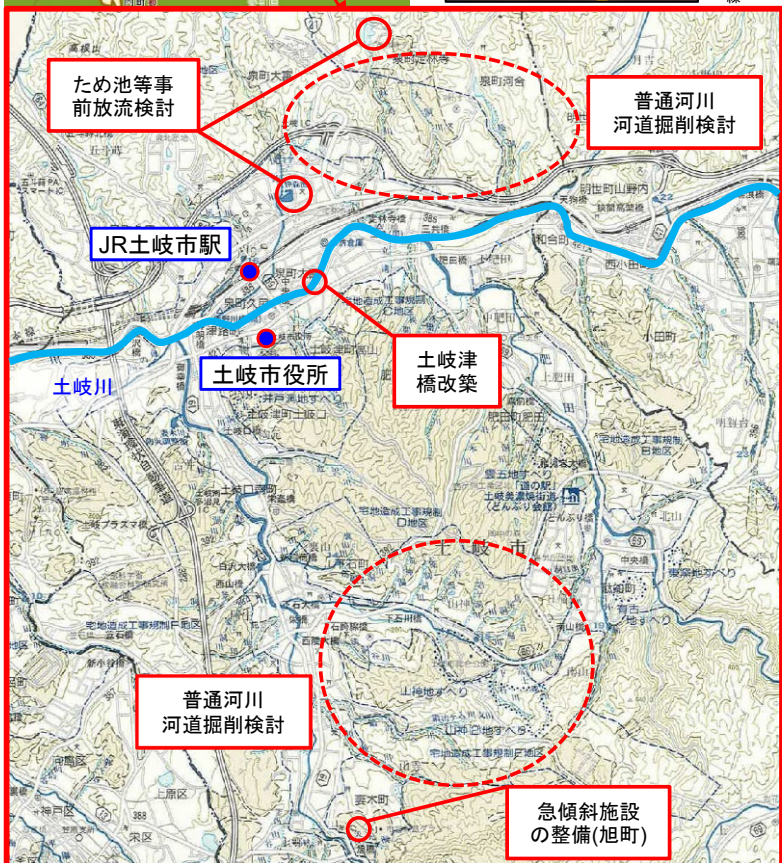
対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (河川浚渫 令和2年度～令和6年度) ●流出抑制対策 ・農業水利施設の活用 (農業用ため池の整備) ・森林保全 (森林整備“間伐”)	→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 ●被害軽減対策 ・地下空間、地区タイムラインの作成・周知 (タイムラインの作成推進“自治会”) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難計画策定の推進)	→	→
【グリーンインフラの取組】 ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全 (農業水利施設の活用) (森林保全)	→	→

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10年～20年程度を想定

【土岐市の流域治水対策】



土岐市では、**【上流域の自治体として雨水流出抑制に努め、市民の防災意識向上を目指す】**
 森林保全やため池貯留等による雨水流出抑制、災害図上訓練や小学生を対象とした防災教育による
 防災意識の向上に努める。



対策メニュー

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
 (普通河川での河道掘削(維持管理計画等の検討)
 (橋梁の架替(土岐津橋改築))
- 流出抑制対策
 - ・民間開発による貯留施設設置指導
 (開発行為に対する流出抑制指導(貯留・浸水施設))
 - ・ため池等の活用
 (既設貯留施設(ため池等)の事前放流)
 - ・森林保全
 (間伐等森林の整備による洪水緩和機能の保全・強化)
- 土砂災害対策
 - ・砂防施設の整備
 (急傾斜施設の整備(妻木旭町で実施中))

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

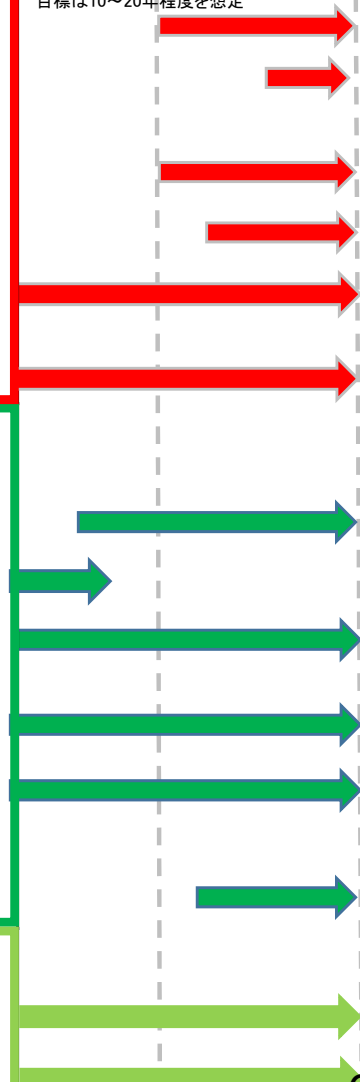
- 被害軽減対策
 - ・地下空間、地区タイムラインの作成・周知
 (自治体タイムライン作成・周知(随時見直し))
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進)
 - ・関係機関との連携
 (関係機関との連携(土岐川流域新五流総地域委員会))
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進
 (住民防災意識向上のための取組(小学生対象の防災教育))
 - ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
 (ハザードマップの作成・活用(災害図上訓練の実施)、住民連携による施設維持(点検および操作訓練))
- ソフト対策のための整備
 - ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設
 (普通河川に於ける危機管理型水位計及び監視カメラの設置)

【グリーンインフラの取組】

- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
 - ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池の事前放流)
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
 - ・小中学校などにおける河川環境学習

短期 中・長期

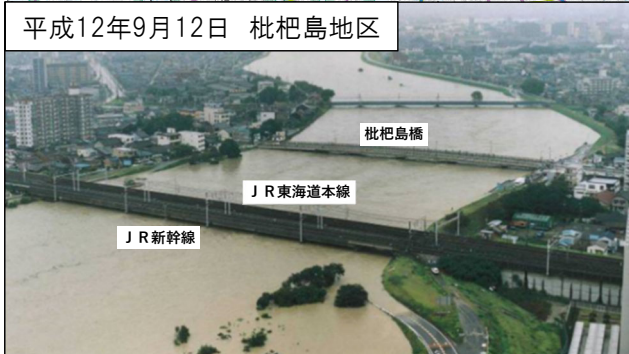
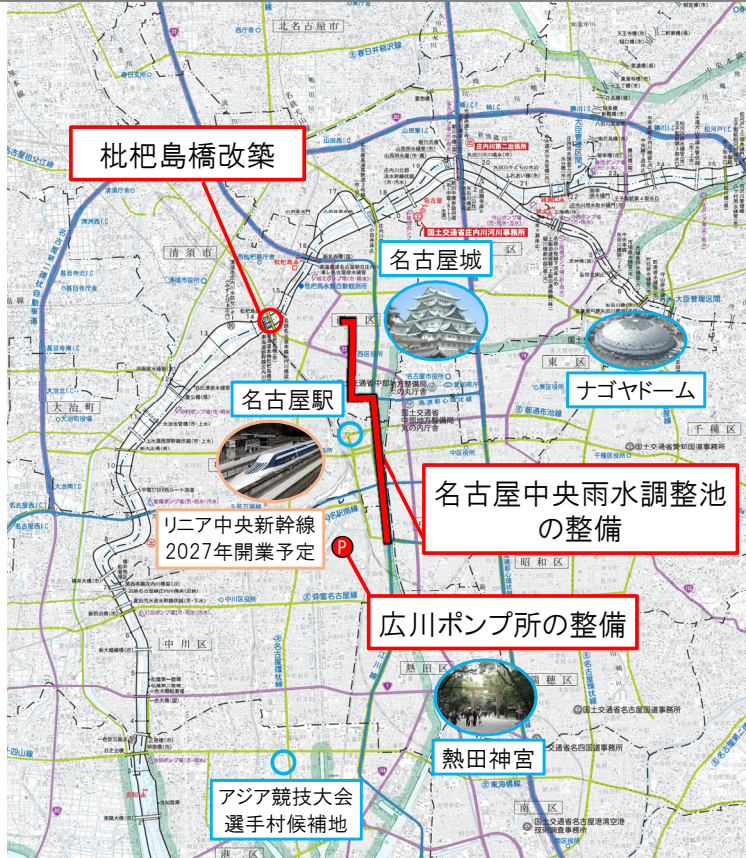
※短期目標は5年程度、中・長期目標は10~20年程度を想定



【名古屋市の流域治水対策】



新しい時代にふさわしい豊かな未来を創る！世界に冠たる「NAGOYA」へ向けて、あらゆる関係者により、**広範囲に存在する災害リスクに対応し、名古屋大都市圏の中核都市として、全国の都市部の先駆けとなるような流域治水を展開**



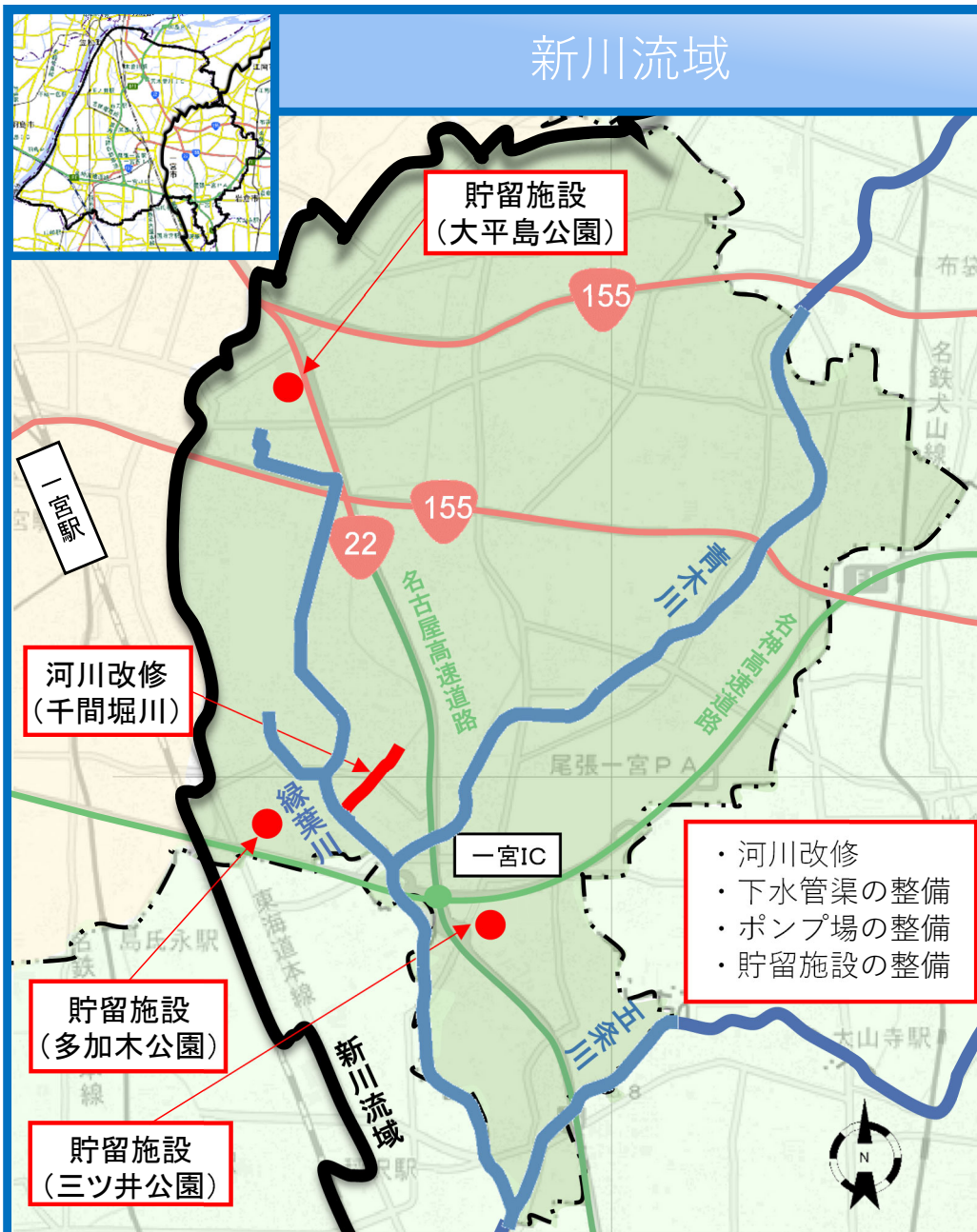
※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備(橋梁改築、堤防(護岸)整備、河床掘削) ●排水機場の新設・増強・長寿命化(排水機場の増強) ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備(調整池、調節池) ・ため池等の活用(河川・ため池・調節池の堆積土砂の浚渫等)(ため池の機能強化(施設改良、耐震化)) ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強 ・ポンプ場の新設・増強・機能強化(雨水ポンプの新設・増強・機能強化(耐震化、耐水化)) ・効率的なポンプ運転調整ルールを検討 	→	→
【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ・立地適正化計画への防災指針の位置付け(防災指針の作成) ・水害リスクを考慮した居住誘導(立地適正化計画に基づく居住誘導) 	→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・公園等を活用した高台の整備 ・広域避難計画の策定(想定最大規模の洪水を踏まえた広域避難計画の策定) ・地下空間、地区タイムラインの作成・周知(地下空間タイムラインの活用) ・水位周知下水道の指定・運用 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保(要配慮者利用施設等における避難確保計画の取組の促進) ・ハザードマップの更新 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進(住民への普及・啓発(雨水流出抑制の推進)) 	→	→
【グリーンインフラの取組】 <ul style="list-style-type: none"> ●自然環境の保全・復元などの自然再生 <ul style="list-style-type: none"> ・干潟保全・再生(藤前干潟の保全) ・ヨシ原再生(藤前干潟の保全) ●生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・大型水鳥等の採餌場保全(藤前干潟の保全) ・休憩地等の生息環境創出(藤前干潟の保全、都心の生きもの復活事業) ●健全なる水循環系の確保 ・浄化浚渫(河道掘削) ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池の浚渫、ため池の保全) ●治水対策における多自然川づくり <ul style="list-style-type: none"> ・整備における生物の多様な生育環境の保全(藤前干潟の保全) ●魅力ある水辺空間・賑わい創出 <ul style="list-style-type: none"> ・水辺の賑わい空間創出(水辺空間の利活用) ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校などにおける河川環境学習(湧き水モニタリング、水質環境目標市民モニタリング、庄内川啓発イベント・動画) ・自然環境保全に関する協議会等の活動(藤前干潟の保全、身近な自然(緑地・ため池など)の保全・再生) ・民間協働による水質調査(市民団体との協働による水質調査(堀川1000人調査隊)) 	→	→

【一宮市の流域治水対策】



みんなで取り組む流域治水
～浸水被害ゼロの新たなまちづくり～



H12東海豪雨時の浸水状況

対策メニュー

短期

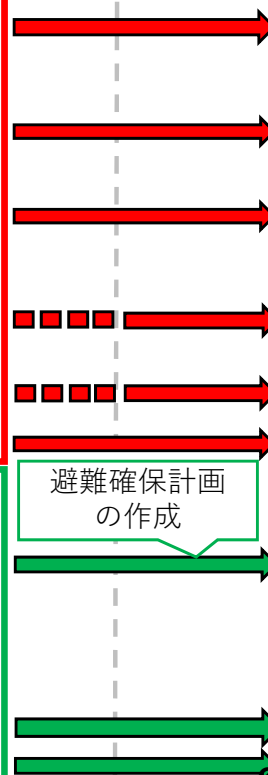
中・長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (河川改修(千間堀川等))
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備 (貯留施設の整備)
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (浸水対策施設設置補助)
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強 (下水管渠の整備)
 - ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (ポンプ場の整備)
 - ・効率的なポンプ運転調整ルールを検討

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (防災ハンドブック改訂) (防災メール)

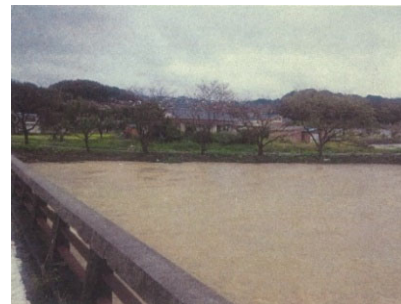
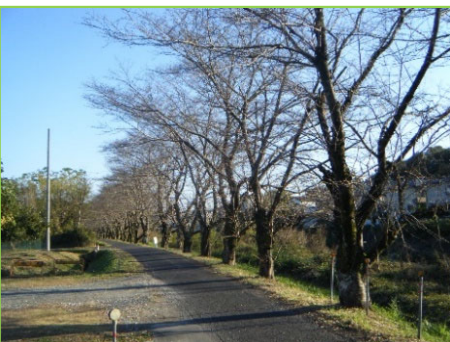


避難確保計画の作成

【瀬戸市の流域治水対策】



“住みたいまち 誇れるまち 新しいせと” 水災害リスクを低減するまちづくり



対策メニュー

短期 中・長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
(一級河川以外の市管理河川で、河床掘削や河道内の樹木伐採等の実施)
- 流出抑制対策
・ため池等の活用 (ため池の活用を実施)

対象河川は検討中

【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
・水害リスクを考慮した居住誘導
(水害リスクの低い地域への移住誘導を検討)

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
(作成した計画に基づく避難訓練の実施促進)
- ・ハザードマップの更新
(現行のハザードマップの背景地図を更新)

避難確保計画作成(令和3年度)

令和3年度予定

【グリーンインフラの取組】

- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池)
- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
・水辺の賑わい空間創出
(河川沿いの桜並木を鑑賞できる遊歩道整備)

区画整理の進捗に合わせて実施

一級河川以外の市管理河川で、河床掘削や河道内の樹木伐採等の実施(検討中)

ため池の活用 移住誘導の検討 避難訓練の促進 ハザードマップの更新

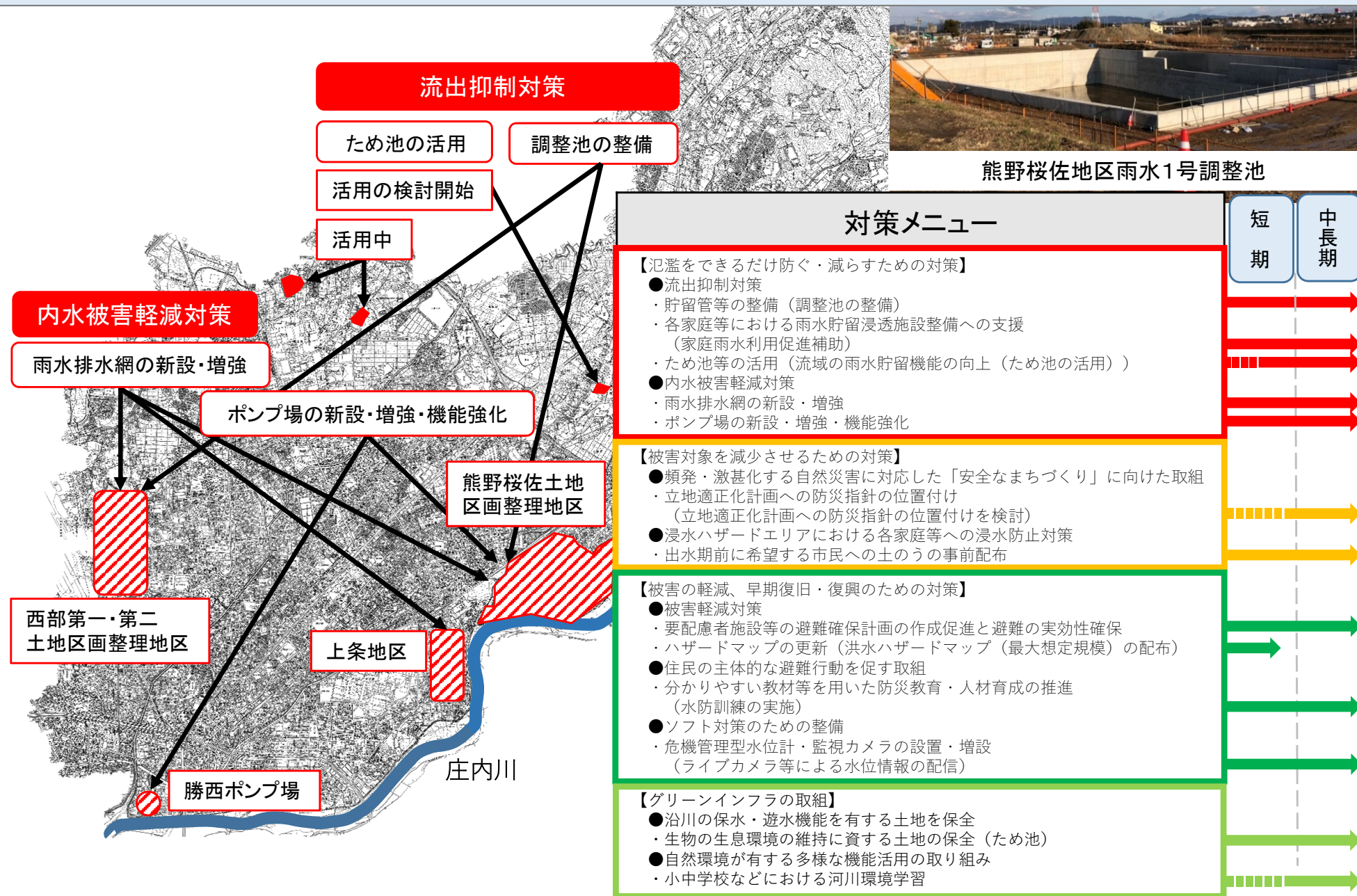
瀬戸市全域図

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10~20年程度を想定

【春日井市の流域治水対策】



★安全安心で快適な住環境が整ったライフタウン! —これからも住みつづけたいまちへ向けて、国・県、そして市民とともに進める庄内川・八田川・地蔵川・内津川流域全体の治水対策—



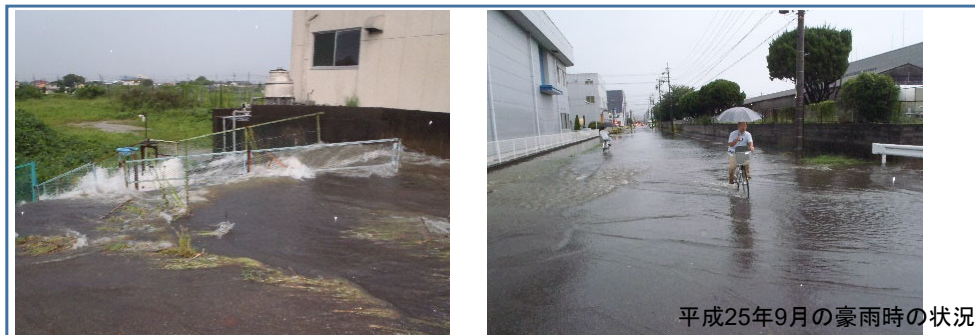
【犬山市の流域治水対策】



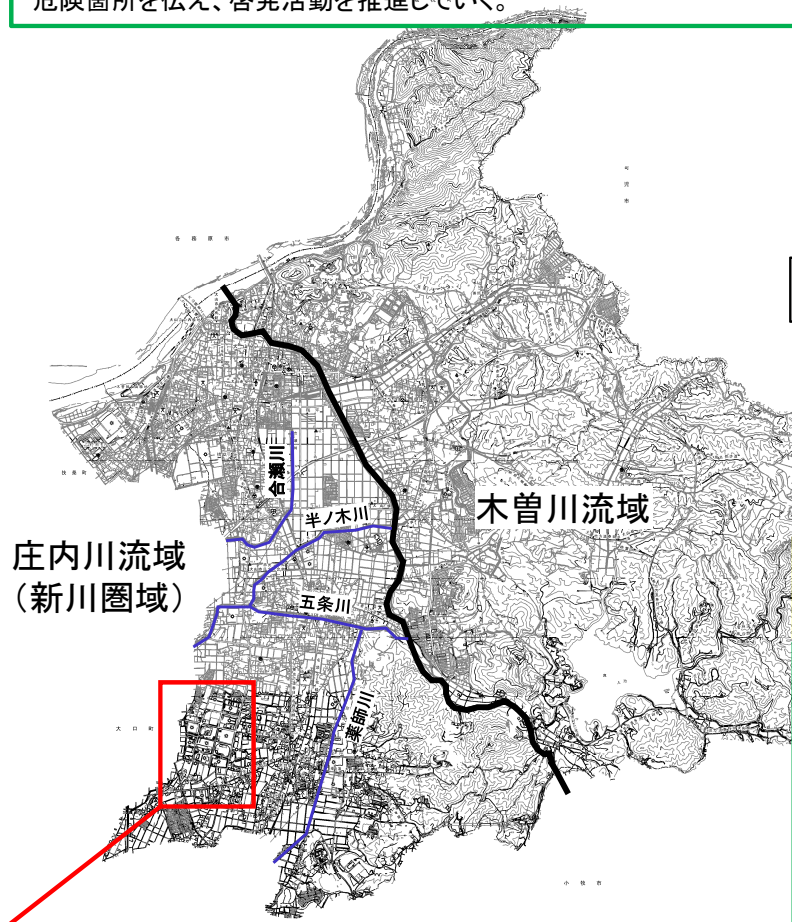
○犬山市では、上流域の役割として下流に位置する市町村への流出負担軽減及び市民の防災意識向上の実施をめざす。

○具体の施策としては、内水被害軽減対策として雨水排水網の増強や、ハザードマップ作成等により住民の防災意識向上を実施していく。

◎市民を対象にハザードマップを活用した防災講話を実施。避難行動の重要性や危険箇所を伝え、啓発活動を推進していく。



平成25年9月の豪雨時の状況



◎近年の豪雨により浸水被害が発生している地区を優先し、排水網の新設・増強を行うとともに、放流河川への負荷を軽減させるための調整池を整備する。

対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援（雨水貯留浸透施設設置費の補助） ・ため池等の活用（ため池の機能強化） ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強 	→	→
【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（立地適正化計画に基づく検討） 	→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（高齢者等の避難確保計画策定の推進） ・ハザードマップの更新（ハザードマップを作成し、住民の防災意識向上に向けた取組を実施） ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進（住民の防災意識向上のための取組） ●ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設（監視カメラの設置・増設） 	→	→
【グリーンインフラの取組】 <ul style="list-style-type: none"> ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全（ため池の機能強化） 	→	→

R2年度
避難確保計画作成済み

【江南市の流域治水対策】



○江南市では、浸水被害のないまちづくりを推進し、【地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市】をめざす。

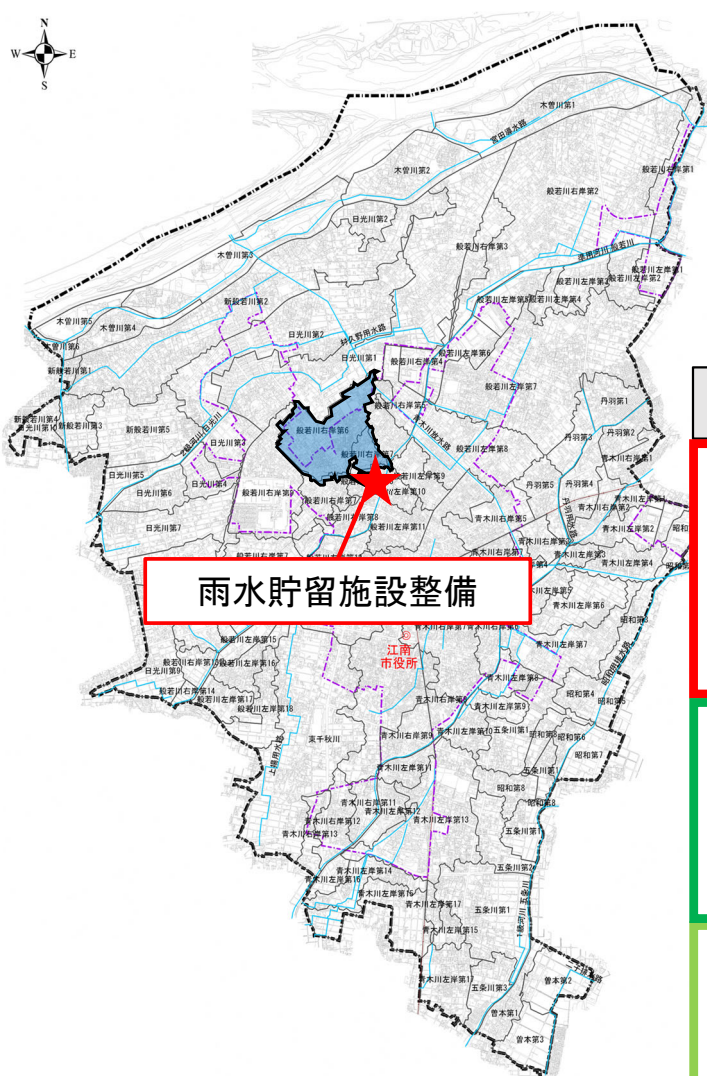
○具体の施策としては、雨水貯留施設整備や避難情報周知等の流域治水対策を実施していく。



H29五条川越水時の様子



R1降雨時の様子



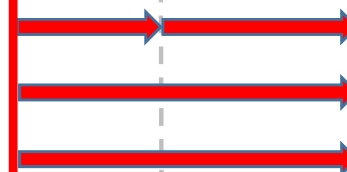
対策メニュー

短期

中・長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
(雨水貯留施設や雨水管線の整備)
 - ・民間開発による貯留施設設置指導
(江南市雨水流出抑制基準に基づく流出抑制指導)
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援
(雨水貯留浸透施設設置費補助に対する助成)



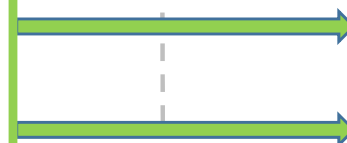
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成推進と避難の実効性確保
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知
 - ・分かりやすい教材を用いた防災教育・人材育成の推進
(住民の防災意識向上のための取組(防災教育の推進等))



【グリーンインフラの取組】

- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
 - ・水辺の賑わい空間創出
(河川空間の利用促進(環境学習や憩いの場としての利活用))
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
 - ・小中学校などにおける河川環境学習
(親子ふれあい観察会(ビオトープ池で、生き物を観察し、自然の大切さについて学ぶ))



【小牧市の流域治水対策】

- ・いつ起きるか分からない大雨による**浸水被害を最小限に抑制**し、市民の貴重な生命と財産を守る。
- ・市民自らが災害に備えるとともに、地域住民がお互いに顔の見える関係を構築することで、災害発生時に**地域が一体となって被害を最小限に抑えられる**まちを目指す。



準用河川整備

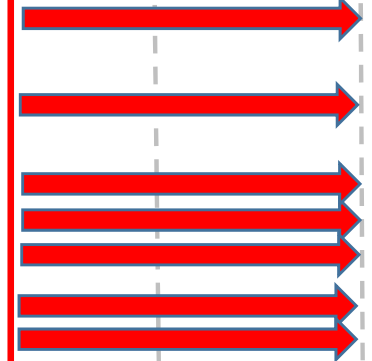


対策メニュー

短期 中・長期

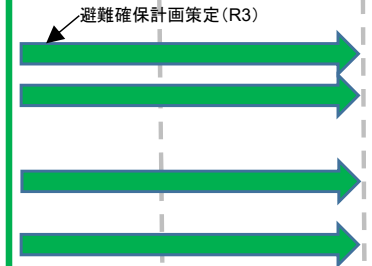
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
(準用河川整備(新川・小針川))
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
(公園等の活用を含む雨水貯留施設整備((仮称)第3老人福祉センター・井領公園・本田会館北公園))
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援
(雨水貯留施設等設置補助金)
 - ・ため池等の活用(ため池の機能強化)
 - ・水田の貯留機能向上(水田利用による雨水流出抑制対策)
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強(大山川排水区・薬師川排水区・下小針雨水幹線)
 - ・効率的なポンプ運転調整ルールを検討



【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画策定の作成促進と避難の実効性確保
(高齢者等の避難確保計画の策定の推進)
 - ・ハザードマップの更新
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知
(小牧市防災ガイドブック配布、HP掲載)
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進
(学校区単位の防災訓練、講師による防災講演会)



【グリーンインフラの取組】

- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
- 生物の生息環境の維持に資する土地の保全
(既存ため池の嵩上げ・余水吐の改良による雨水流出抑制)
(畔の嵩上げ・排水路改修による雨水流出抑制)

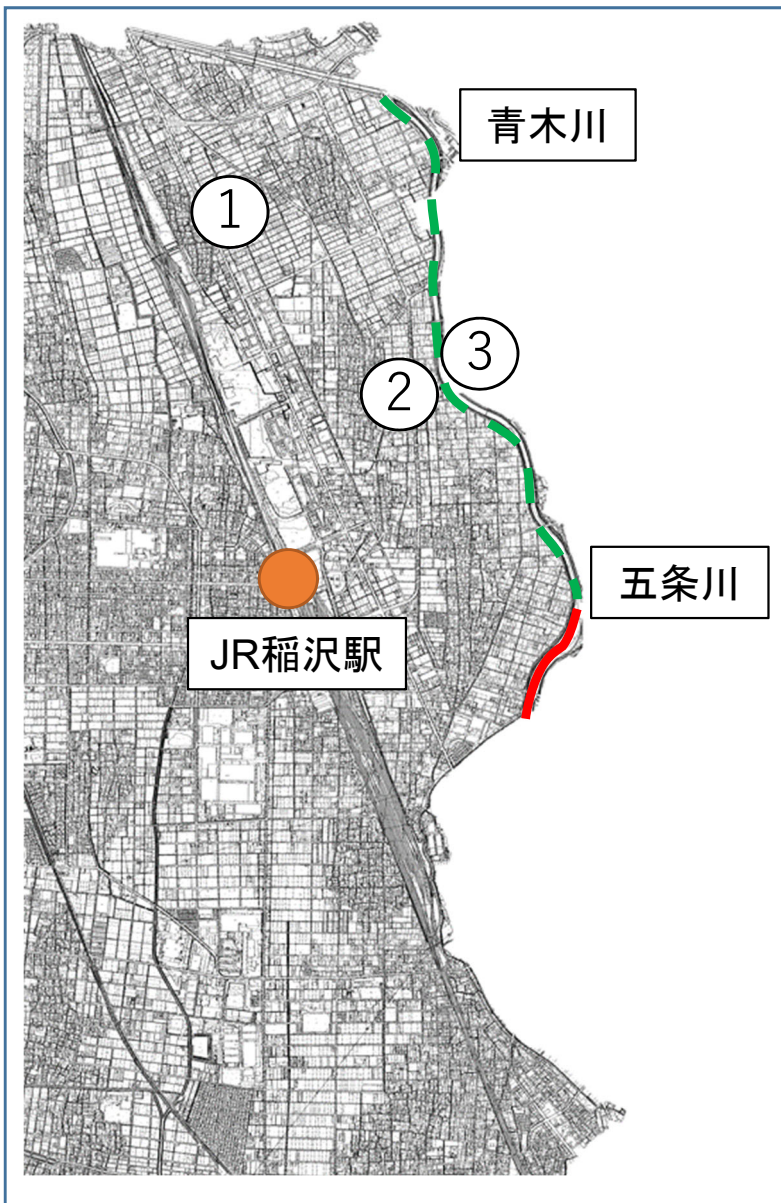


※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

【稲沢市の流域治水対策】



- 安全・安心で、健康に暮らせるまち「INAZAWA」をめざす。
- 雨水貯留施設の整備、被害の軽減対策を実施していく。

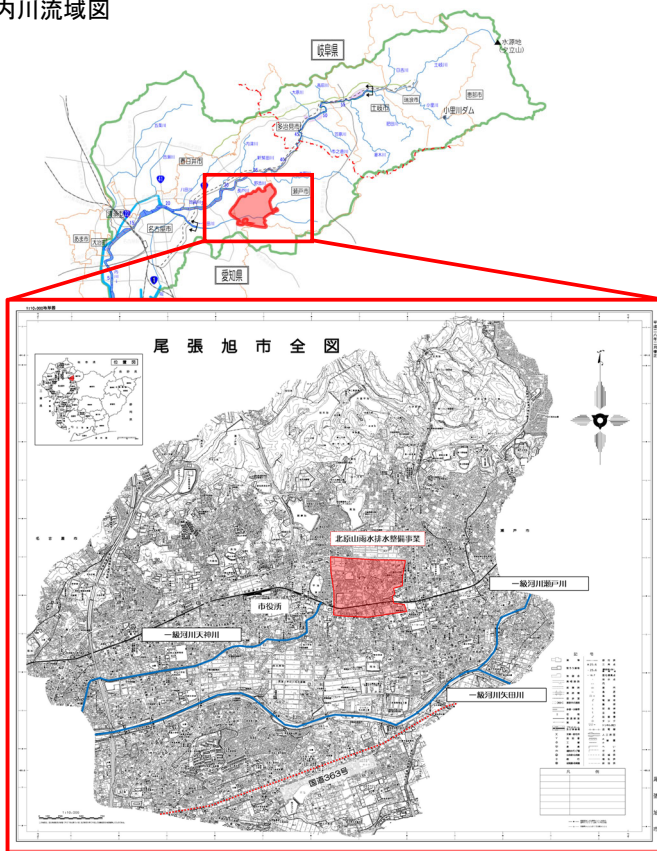


対策メニュー	短期	中期	長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (調整池の整備) 図内① (流域貯留) 図内② ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・効率的なポンプ運転調整ルールの検討 	→		→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (避難確保計画の早期作成を要請中) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (ハザードマップ更新(令和2年度)に伴う防災マップの配布(令和3年度)) ●ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (監視カメラの増設) 図内③ 	→		→

【尾張旭市の流域治水対策】

- 「すくすくのびのび尾張旭市」自然に恵まれたまちだからこそ、雨に強いまちづくり
- 排水施設の整備・維持管理を行い、大雨による浸水被害を最小限に抑制する

庄内川流域図



平常時

増水時 (R2.7.18 30mm/h)

一級河川天神川 【写真】天神川1号橋より下流側を撮影

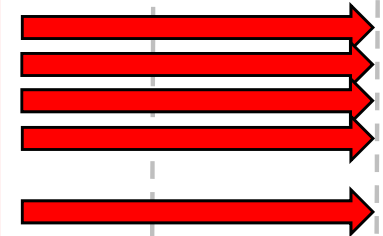
対策メニュー

短期

中・長期

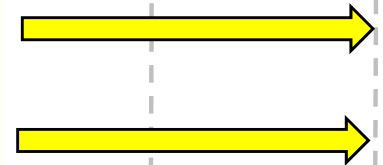
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備（貯留施設の整備・保全）
 - ・ため池等の活用（ため池の活用による流出抑制）
 - ・水田の貯留機能向上（水田の活用による流出抑制）
 - ・透水性舗装の整備
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強（排水施設の整備・維持管理）



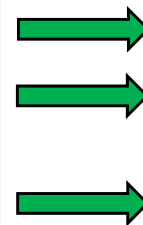
【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（防災指針の検討・作成）
- 浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策
 - ・出水期前に希望する市民への土のうの事前配布



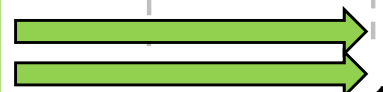
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・ハザードマップの更新
- ソフト対策のための整備
 - ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設（河川管理カメラ）



【グリーンインフラの取組】

- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
 - ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全（農業用ため池の低水位管理）
 - （農業振興地域内農用地の保全）



【岩倉市の流域治水対策】



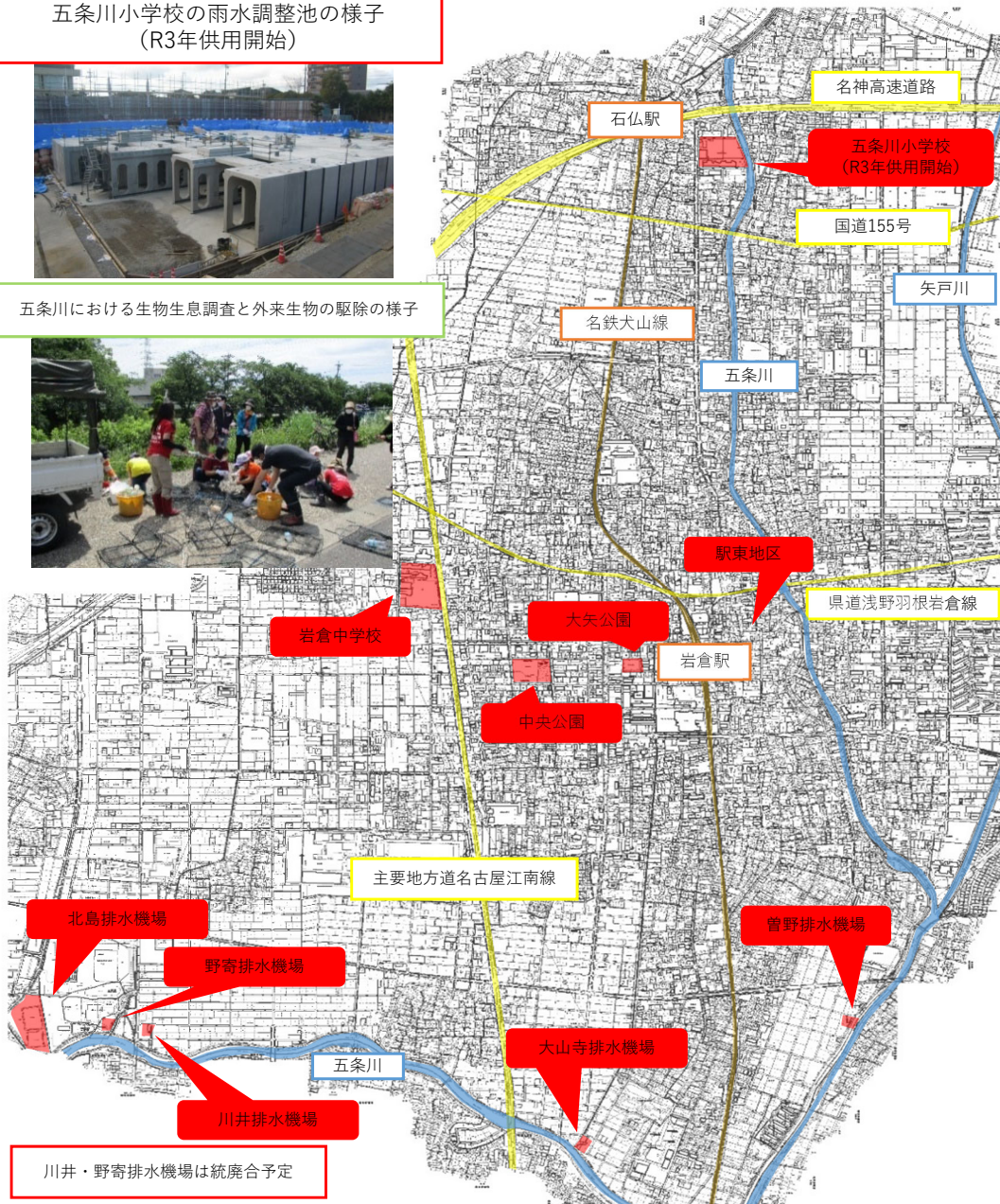
○「住むなら岩倉！子育て・健幸・安心なまち」治水対策にも取り組み「やっぱり岩倉がい〜わ」といわれる市を目指す
 ○公共施設(公園、学校等)に雨水調整池を整備、排水機場の更新、避難計画策定などの対策を行う

※短期は5年程度、中・長期は10~20年以上を想定

五条川小学校の雨水調整池の様子
(R3年供用開始)



五条川における生物生息調査と外来生物の駆除の様子



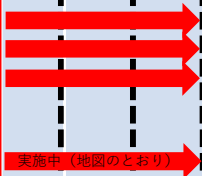
川井・野寄排水機場は統廃合予定

対策メニュー

短期 中・長期

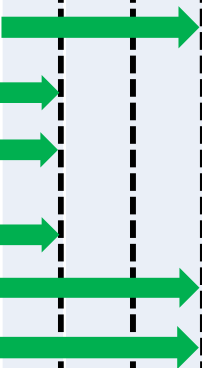
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 内水被害軽減対策
 - ・ポンプ場の新設・増強・機能強化
(農業排水施設等の活用として大市場・大山寺・北島・野寄・川井の排水機場の更新)
(雨水排水ポンプ場の新設として曾野・大山寺・北島・野寄排水機場の排水機能強化)
 - ・効率的なポンプ運転調整ルールの検討
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
(五条川小学校・岩倉中学校・中央公園・大矢公園・駅東地区に雨水調整池を整備)



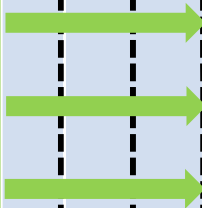
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知
(自治体タイムラインの改訂)
 - ・要配慮者施設等の避難確保企画の作成促進と避難の実効性確保
(高齢者等の避難確保計画策定の推進)
 - ・ハザードマップの更新
(ハザードマップ更新)
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知
(避難場所・経路の情報推進)
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進
(防災教育の推進)
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
(マイタイムライン策定の推進)



【グリーンインフラの取組】

- 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成
 - ・休憩地等の生息環境創出
(五条川における生物生息調査と外来生物の駆除)
- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
 - ・水辺の賑わい空間創出
(「岩倉の水辺を守る会」による五条川におけるイベント(水辺まつり、親子魚釣り教室等))
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
 - ・小中学校などにおける河川環境学習
(五条川流域の小中学校児童による五条川水生生物調査)



【清須市の流域治水対策】



★水と歴史に織りなされた安心・快適で元気な都市を目指し、市民と行政が一体となって災害への備えを充実させ、**安全で安心に暮らせるまちをつくる**

- ・避難確保計画の策定(小中学校)
- ・ハザードマップの活用方法や避難方法の啓発
- ・市内小学校環境学習



雨水ポンプ場の機能強化



H12東海豪雨

対策メニュー	短期	中長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備（雨水調整池の整備） ・民間開発による貯留施設設置指導（開発における雨水貯留浸透施設の設置指導） ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援（雨水貯留浸透施設設置補助金、浄化槽雨水貯留施設転用補助金） ・透水性舗装の整備 ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強（雨水幹線の整備） ・ポンプ場の新設・増強・機能強化（雨水ポンプ場の整備） ・効率的なポンプ運転調整ルールを検討 		
【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（防災指針のガイドライン検討のモデル都市） 		
【被害の軽減 早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・広域避難計画の策定（広域避難について検討中） ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知（電話・登録制メール、防災行政無線による情報伝達） ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進（水害をテーマとした防災講演） ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（手作りハザードマップの作成） （自主防災訓練等において、ハザードマップの活用方法や避難方法の啓発） （自主防災訓練等において避難訓練や避難危険箇所の確認） （市内中学生の自主防災訓練への参加） 		
【グリーンインフラの取組】 <ul style="list-style-type: none"> ●治水対策における多自然川づくり <ul style="list-style-type: none"> ・河川景観の保全・創出（河川美化活動） ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・小学校における河川環境学習（市内小学校環境学習） 		

【北名古屋市の流域治水対策】



- 北名古屋市は、市民と行政が同じゴールをめざして協働してまちづくりを進めることで「**健康快適都市**」**誰もがいきいきと安全・安心に暮らせるまち**をめざす。
- 具体の施策としては、雨水による氾濫被害を軽減させるために、幹線排水路や貯留施設排水ポンプ場の整備を実施していく。



I - ②排水ポンプ場の整備

対策イメージ(雨水貯留施設)



対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (雨水貯留施設の整備) ・民間開発による貯留施設設置指導 (開発における雨水浸透阻害行為指導) ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設整備の支援) ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強 (幹線排水路の改修) ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (排水ポンプ場の整備) ・効率的なポンプ運転調整ルール検討 		
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・ハザードマップの更新 		

【あま市の流域治水対策】



“あまデカラ”により、住みやすいまちづくりを実現するための**雨水流出抑制・防災対策推進**を図り、**AMEと共存するAMAを創る**。

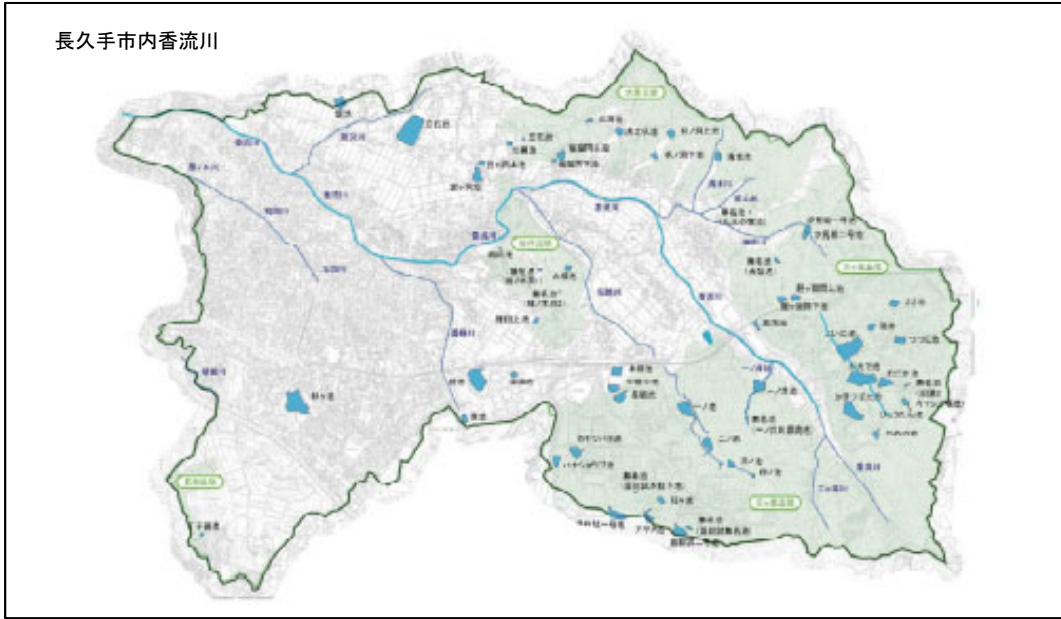


※短期目標は5年程度、
中・長期目標は10～20年程度を想定

対策メニュー	短期	中・長期
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (保全調整池及び雨水貯留浸透施設の整備) ・透水性舗装の整備 ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (雨水排水ポンプの整備) ・効率的なポンプ運転調整ルールを検討 		
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの作成・周知) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進) ・ハザードマップの更新 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進 (住民の防災意識向上のための取組(防災教育の推進等)) ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (マイタイムラインの作成の推進) 		

【長久手市の流域治水対策】

- 万博理念を継承し、自然環境にこだわるまちづくり。
- 具体的な施策としては、水害ゼロを目指し、河道の継続的な維持管理と早期避難を可能にする。



河畔林の繁茂状況



河川カメラの設置状況

一級河川香流川

対策メニュー

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
 - ・河道掘削の調査、継続的な維持管理
- 流出抑制対策
 - ・ため池等の活用

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成
促進と避難の実効性確保
(要配慮者施設等の避難確保計画の作成)
 - ・ハザードマップの更新
- ソフト対策のための整備
 - ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設(河川カメラの設置)

【グリーンインフラの取組】

- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
 - ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池)

短期

中・長期

香流川を含む市内準用河川等



香流川を含む市内準用河川等



【豊山町の流域治水対策】



被害軽減を目的とした流域治水対策及び町民の防災教育の推進等を実践し、「安全・安心で住みやすさを実感できるまちづくり」の実現を目指す



平成12年東海豪雨被害状況



【大口町の流域治水対策】

◆大口町では、災害に強い豊かな生活基盤の創造を目指しています！

☞ 災害などから住民の大切な生命や財産を守るために災害に強い都市基盤の整備を進めるとともに、関係者間の連携を通じて地域の自主的な防災活動の一層の充実を図り、安心して暮らせるまちづくりを進めています。

対策メニュー

短期

中・長期

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

●被害軽減対策

- ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・ハザードマップ更新（令和3年度更新予定）
（現行の防災マップ（地震・洪水）を更新し、新しい情報を住民に届けます。）

●ソフト対策のための整備

- ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設（監視カメラ設置）
役場からほど近い五条川（平和橋）に監視カメラが設置しており、川の水位を確認することができます。
また、今後、民間企業の協力を得ながら、主要な河川のポイントに監視カメラを増設していく予定です。



☞ ■現行の防災マップ
（平成26年3月作成）

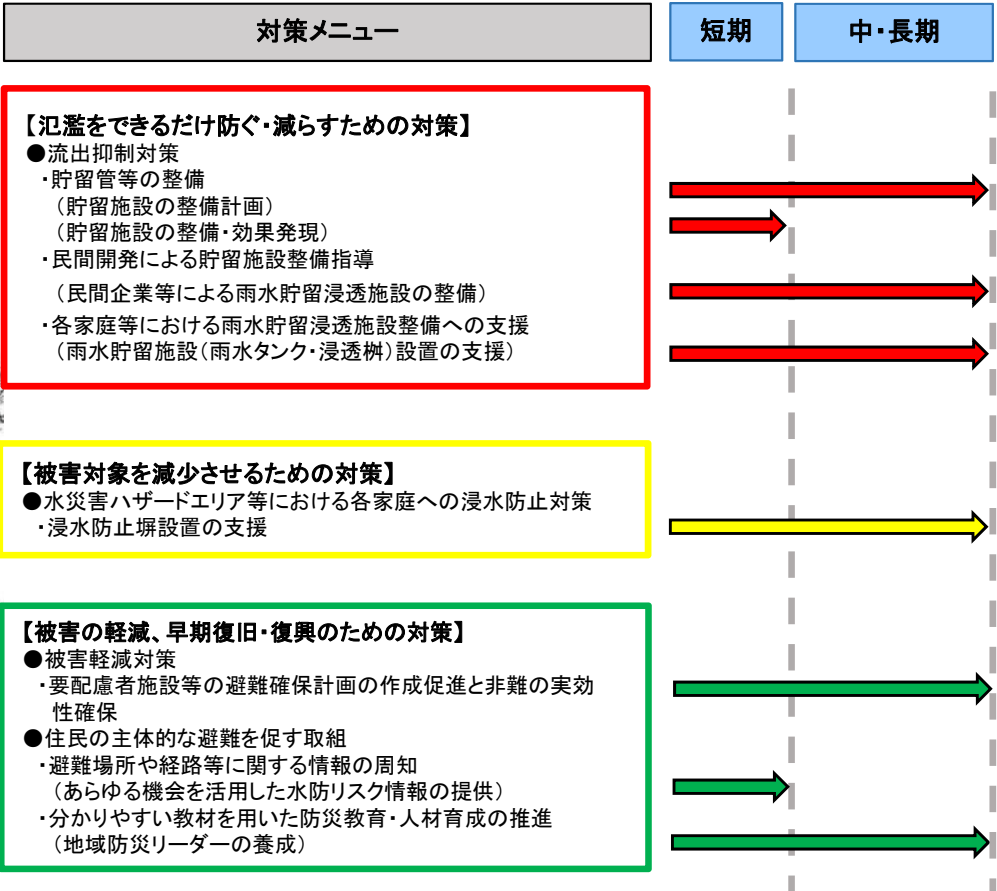
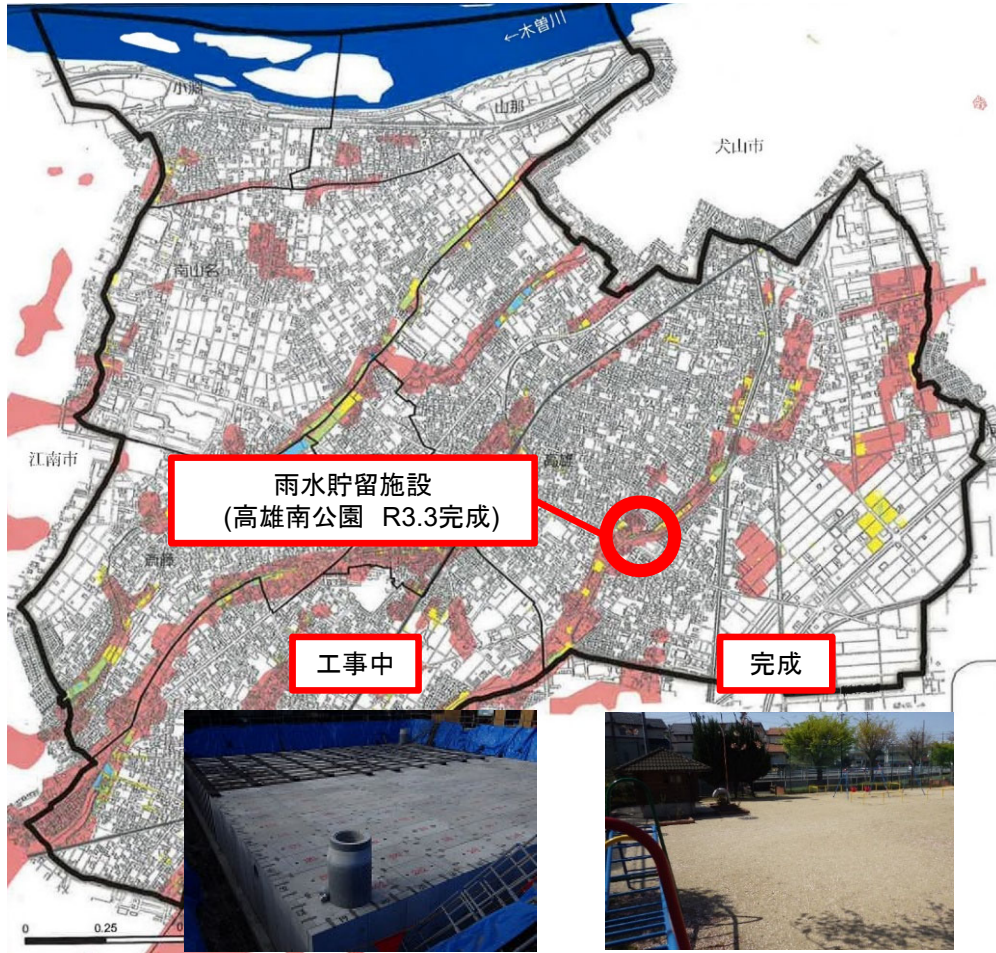
☞ ■尾張北部豪雨
（平成29年7月14日）



【扶桑町の流域治水対策】



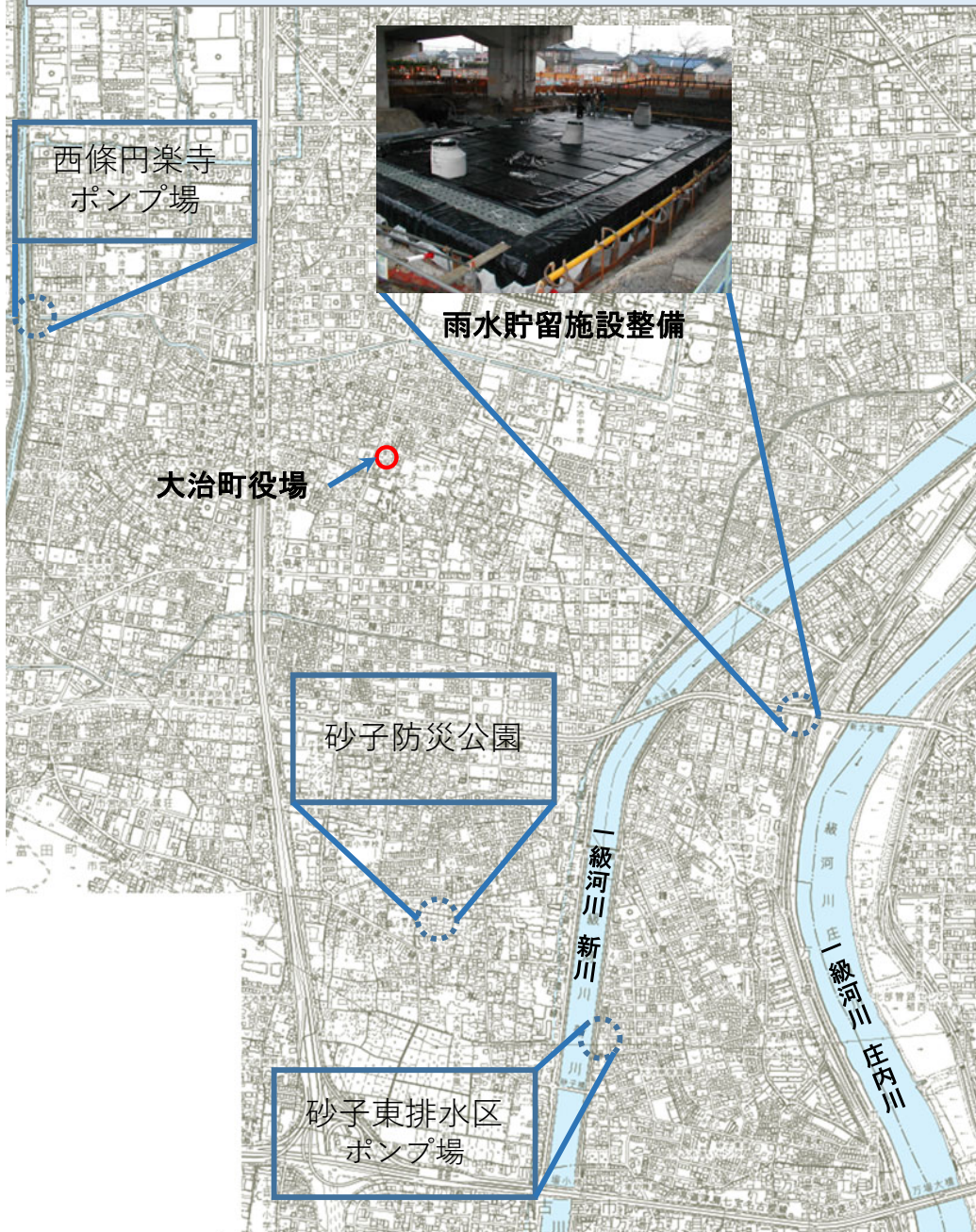
扶桑町ではみんなで“守る”まちづくりを目指し、雨水流出抑制と住民の防災意識向上を実践し下流域への流出抑制していく。



【大治町の流域治水対策】

安全で安心して暮らせるまちづくり

海拔ゼロメートル地域として、発生しやすい浸水被害の未然防止に努め、町民の防災意識を育む



対策メニュー

短期

中・長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
(浚渫(準用河川))
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
(貯留施設機能の維持)
 - ・民間開発による貯留施設設置指導
(開発行為に対する流出抑制指導(貯留浸透施設))
- 内水被害軽減対策
 - ・ポンプ場の新設・増強・機能強化
(ポンプ場の整備(西条円楽寺地区・砂子東排水区))
 - ・効率的なポンプ運転調整ルールを検討

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

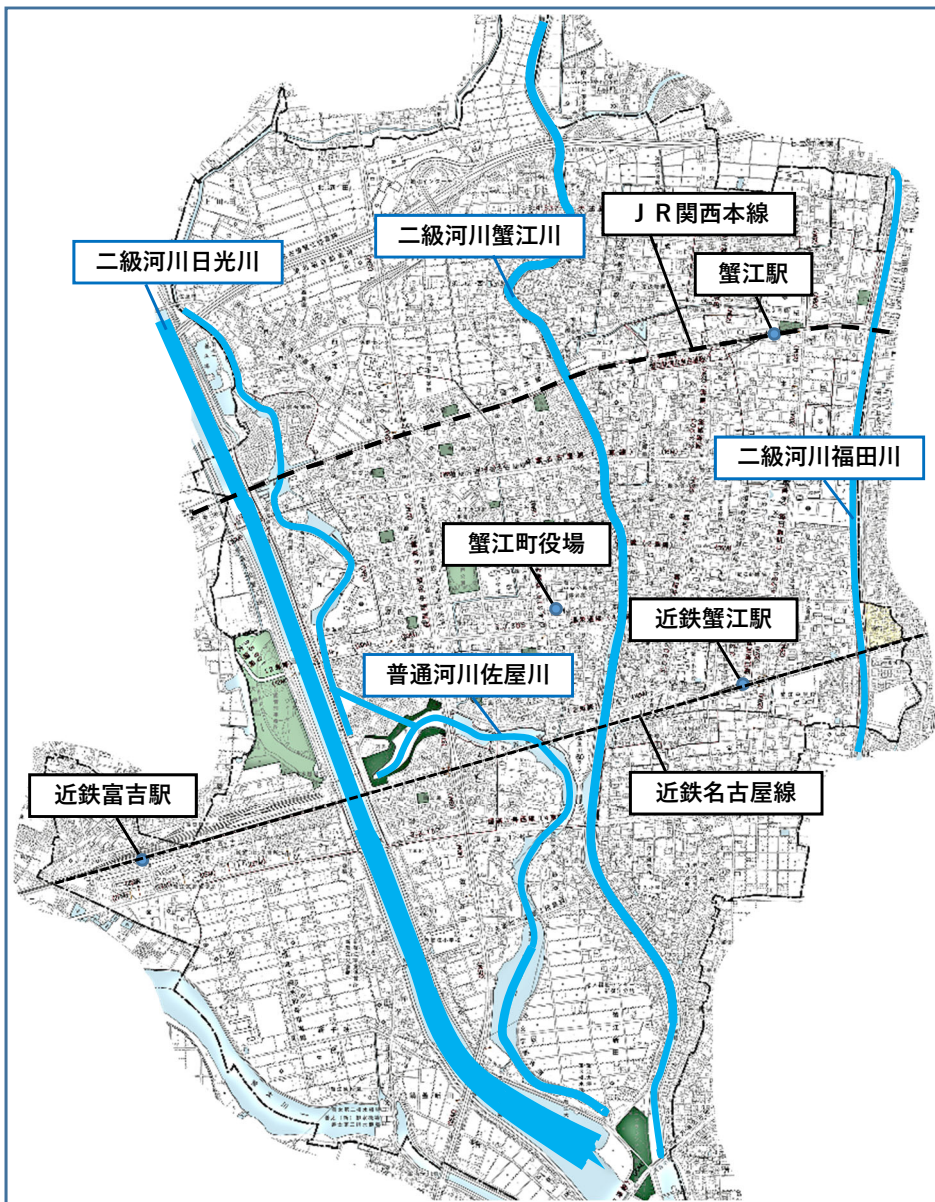
- 早期復旧に備えた対策
 - ・防災拠点の整備
(一次避難地となる防災公園整備)
- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
(要配慮者利用施設の避難確保計画の作成・更新の促進)
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進
(小学校における防災教育の実施)
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
(みずから守るプログラムによるハザードマップ作製)

避難確保計画の作成

【蟹江町の流域治水対策】



○蟹江町では、「豊かな環境と安全がもたらす持続可能なまちづくり」をめざす。
 ○具体的な施策としては、排水ポンプの増強等による内水対策や、地区防災計画の推進等による住民の防災意識向上を図っていく。



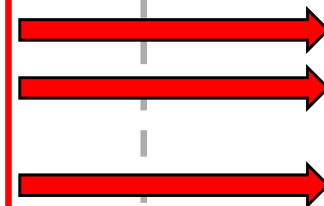
対策メニュー

短期

中・長期

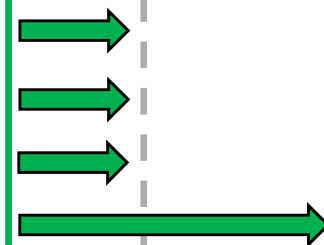
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
(排水路の整備、改修及び堆積土砂の浚渫)
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援
(浄化槽雨水貯留施設転用への支援)
- 内水被害軽減対策
 - ・ポンプ場の新設・増強・機能強化
(排水ポンプの増強)



【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

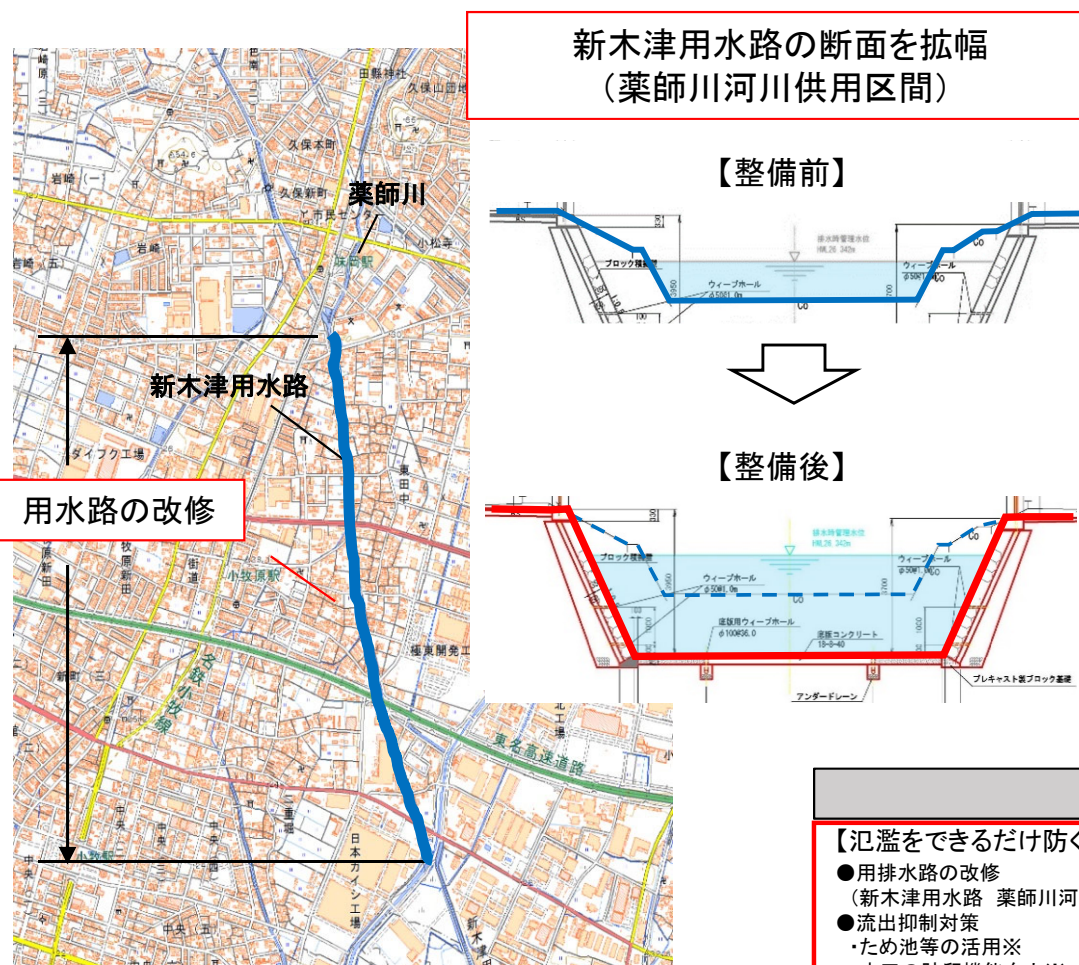
- 被害軽減対策
 - ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知
(自治体タイムラインの更新)
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
(要配慮者利用施設の避難確保計画の作成)
 - ・ハザードマップの更新
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
(地区防災計画の策定推進、自主防災訓練の実施)



【東海農政局の流域治水対策】



- 東海農政局では、地域の排水路としての機能を有し、河川と兼用工作物となっている農業水利施設を整備することにより、農地及び周辺居住区の湛水被害の軽減をめざす。
- 具体の施策としては、集中豪雨や流域の都市化の進展等による降雨時の流出形態の変化に対応するため、新木津用水路の断面を拡幅し、排水機能を向上させる。



新木津用水路の断面を拡幅
(薬師川河川供用区間)

【整備前】

【整備後】

用水路の改修



犬山市や小牧市を中心とした局地的豪雨
(平成29年7月14日豪雨)

改修済区間 未改修区間

水路断面を拡幅した区間では水位が低下

◎近年の集中豪雨等により周辺の農地や家屋等に湛水被害を及ぼすおそれ

対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 ●用排水路の改修 (新木津用水路 薬師川河川供用区間の改修(国営総合農地防災事業)) ●流出抑制対策 ・ため池等の活用※ ・水田の貯留機能向上※	→	→
【グリーンインフラの取組】 ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池、水田)※		→

※実施主体ではないが、連携して取り組む

【中部森林管理局の流域治水対策】

- 森林地域においては、森林の有する水源かん養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図ることにより、流域治水対策を推進。
- このため、間伐等の森林整備を適時適切に実施するとともに、山地災害等により機能が低下した荒廃地・荒廃森林については機動的に治山対策を実施。



森林整備

間伐前

→

間伐後

治山対策

復旧前

→

復旧後

山腹工

溪間工

写真はイメージです。

対策メニュー	短期	中・長期
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・森林保全 (森林整備(間伐)) (森林の適正な管理) ●土砂災害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設の整備 (治山対策) 		
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全 (森林整備、治山対策) 		

【岐阜・名古屋地方気象台の流域治水対策】



- 気象に関する予報精度の向上への取組として、線状降水帯の予測精度の向上や最大危険度予測(土砂災害・浸水害・洪水)の検討を進める。
- 地域における気象防災業務の強化の取組みとして、近年相次ぐ自然災害を踏まえ、気象庁の情報が防災対応判断に活かされるよう、市町村等で「理解・活用」いただくための支援を行う。

＜関係機関との連携強化の取組み＞

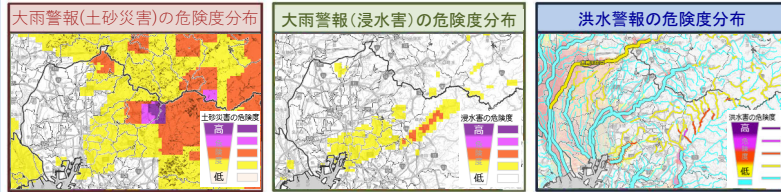
平時

- ✓気象台長の市町村長との「顔の見える関係」を構築・深化
- ✓「あなたの町の予報官」を編成して支援・連携
- ✓防災気象情報の理解・活用のための実践的な研修・訓練等の実施

自治体職員対象の気象防災ワークショップ
(令和元年5月愛知県災害情報センターにて実施)



警報や危険度分布(キキクル)等を用いて防災対応を疑似体験



- ✓「気象防災データベース」を整備し、気象特性・災害リスク等を共有

※市町村毎のデータベースのイメージ
地域防災計画、ハザードマップ、地域特性、災害履歴と災害時の気象状況及び地震・火山活動の状況 等

緊急時

- ✓ホットライン等により予報官の危機感を確実に伝達
- ✓災害対応支援のため「気象庁防災対応支援チーム(JETT)」を派遣

○令和3年7月3日静岡県熱海市で発生した土砂災害に対応して、熱海市へ広域派遣



観測項目	11日 / 日中の最高 31℃				12日 / 日中の最高 25℃			
	15時	18時	21時	24時	15時	18時	21時	24時
1時間降水量 (mm)	0	0	0	0	0	0	0	0
1時間最大風速 (m/s)	0	0	0	0	0	0	0	0
最大風速 (m/s)	2	2	4	2	2	2	2	2
最大瞬間風速 (m/s)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

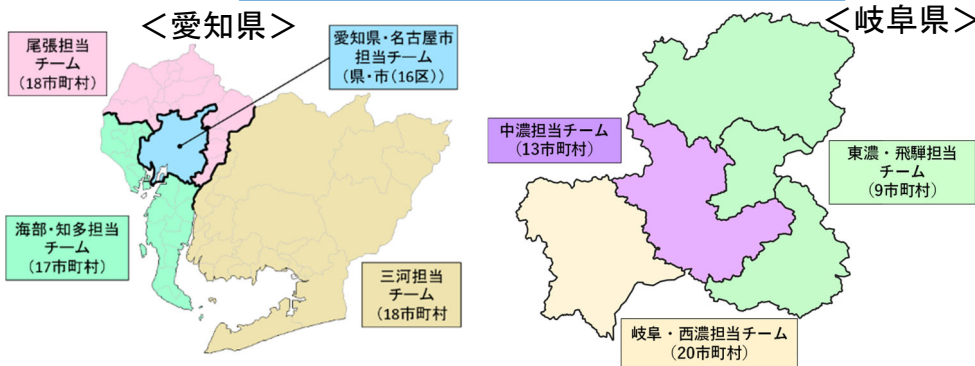
今後の天候や注意報・警報の見通しを解説・助言

気象支援資料や防災気象情報を掲載したポータルサイト開設

災害後

- ✓市町村等と共同で「振り返り」、不断に取組を改善

地域担当チーム「あなたの町の予報官」



対策メニュー

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・気象に関する予報精度の向上
 - ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知
(自治体が作成するタイムラインの見直し等への助言)
 - ・関係機関との連携強化
(地域の気象防災支援(あなたの町の予報官、JETT派遣))
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組み
(住民への防災気象情報(キキクル等)の利活用を促進)

短期 中・長期

